

2年

平成28年度 SGH 課題研究発表会を開催しました

2月8日(水)、あわぎんホールにて、課題研究発表会を開催しました。12月のグループ別発表会で選ばれた2年生の10の代表班が発表したほか、インドネシア研修の成果発表を研修参加生徒が英語で行い、1年生に向けてインドネシア研修の意義をアピールしました。1～2年生の全生徒が発表を聴いたほか、SGHでお世話になっている先生や教育関係者の方、保護者の方々など多くの方に来ていただきました。

1年間取り組んできた課題研究の成果ということで、どのグループも力が入ったプレゼンテーションを行っていました。今回の発表会では、例年に比べて聴衆を意識したアイコンタクト・身振り手振りを使ったプレゼンテーションが増えてきたことや、質疑応答が大変活発(鋭い質問もたくさんでした!)だったところが、とても印象的でした。内容としても、大学の先生のご指導があったこともあり、順序立てた理論展開で提言までの構成がしっかりしてきました。今回の先輩たちの発表に刺激を受けた1年生が、来年素晴らしい研究をしてくれることを期待しています。

どの班の発表も素晴らしいものでしたが、下記のとおり受賞班が決定しました。

## 最優秀賞

◆社会科学5班「日本は外国人労働者を受け入れるべきか？」

～経済・文化的側面から考える～

外国人労働者受入れというグローバル化の進む社会ならではの問題を取り上げ、多文化共生をキーワードに国ができること・自分たちができることを提案しました。短期的な労働力の供給源としてではなく、長期的なビジョンを持った受入れ案は素晴らしかったです。

## 優秀賞

◆芸術・生活科学3班 「It's Show Time! in 発展途上国」

発展途上国繁栄の1つの糸口として、ショーエンターテインメントが有効なのでは?という考えのもと、オリジナル喜劇「マンゴーマン」を考えだしました。面白いだけでなく現地の文化を重んじる内容となっていたり、コスト面も考えられていて、まるで1つの企画書を読んでいるような充実した内容でした。

## 優秀賞

◆医療A4班 「あなたの疲労は回復できている？」

睡眠の質の改善という切り口で日本人の疲労回復に挑んだ研究。就寝時間から逆算して、2時間前には何をすればよいか、1時間前には何をすればよいか、と生活習慣の改善を提案。今日から実践できる身近な内容で引きつけられるものがありました。



1年間指導にあたってくださった先生方、当日ご来場いただいた皆様、  
ありがとうございました

## 職業ガイダンスを開催しました



1月19日(木)、**職業ガイダンスを開催しました**。本校では、生徒一人一人が自らの将来の進路や生き方を具体的に考えるために体験的・実践的な進路学習を行っています。

その学習の一環として様々な分野の第一線でご活躍されている方々をお招き(または訪問)し、職場における体験やそれぞれの職業や専門分野の研究等に必要な資質・知識・心構えなどをお話いただく「職業ガイダンス」を1学年で実施しています。今年も下記のとおり、19名の講師の先生にご講演していただきました。

グループ		講師氏名・所属	
A	マスメディア	四国放送総務部 井上彰夫 先生	徳島新聞編集局 NIE 推進室長 井上 雅史 先生
B	国際	日本貿易振興機構(JETRO)徳島貿易情報センター 佐川 将平 先生	徳島大学大学院医歯薬学研究部地域医療人材育成 分野特認助教 増矢 幸子 先生
C	法律	うずしお法律事務所代表弁護士 瀧 誠司 先生	徳島東警察署交通第一課 樫原 美咲 先生
D	経済	株式会社ワイヤーオレンジ代表取締役社長 原田 剛 先生	阿波銀行経営統括部経営品質推進課広報担当 本庄 宙 先生
E-1	教育 小中高	鳴門教育大学教職実践力高度化コース 大林 正史先生	徳島県教育委員会教育文化課 三井 敏之 先生
E-2	教育 心理保育	徳島大学大学院総合科学教育部臨床心理相談室 寺本 陽子 先生	鳴門教育大学附属幼稚園園長 佐々木 晃 先生
F	医療	博愛記念病院医師 藤川 和也 先生 博愛記念病院薬剤師 久米 美弥子 先生	博愛記念病院看護師 神野 早紀子 先生
G	工学	徳島大学大学院理工学研究部教授 安野 卓 先生	日本システム開発株式会社 白川 孝枝 先生
H	自然科学	徳島大学大学院理工学研究部教授 伏見 賢一 先生	パルネケ動物病院院長 パルネケ・マミ 先生

講師先生の中には、普段高校生も関わりのある会社・機関の方もいらっしゃいましたが、「どんな人がこの職業に向いているのか」、「普段の業務は何をしているのか」、「資格が必要なものについては、どうやって勉強したのか」、「高校生今からしておくべきことは何か」など、なかなか普段は聞けないことを教えていただきました。もともと興味があったことへの関心を更に強めた生徒もいれば、自分の思わぬ関心に気づいた生徒もいたようで、それぞれの将来に有意義なガイダンスとなりました。



## 「国際問題を考える日」に参加しました

2月11日(土)、**第4回高校生「国際問題を考える日」**に参加しました。

午前中は、2つの基調講演や高校生によるパネルディスカッション、昼休みに国際的な活動をする団体の 30 ブースが交流の場に出席され、ミニ講演が行われました。

午後からは、計84グループによる生徒のポスターセッションが行われました。本校からは2年生5名が代表として「**教育ライザップ**」というテーマで、多くの傍聴者を前に発表しました。インドネシア研修で格差問題を感じ、「ICTを用いた授業形態」で教育の質をあげる提案や持続可能な援助とするため「企業と現地の人々との連携」を自分たちが大塚製薬に提案するなど、研究発表をしました。また、海外研修を体験しているからこそ熱心な質疑にも的確な応答ができました。

見学で参加した1年生にとっても自分たちが取り組む次年度の課題研究に向け、よい刺激となりました。

